

## 英語 創価大学 一般入試 B・C 学習アドバイス (傾向と対策)

### ■一般入試 B 2月3日

#### 出題傾向

解答時間 60 分、大問 5 題、小問 25 問である。問題構成は以下の通り。

- ① 読解問題 (5 問)
- ② 読解問題 (5 問)
- ③ 読解問題 (5 問)
- ④ 読解問題 (5 問)
- ⑤ 読解問題 (5 問)

大問①は、「健康法」に関する 300 語程度の記事を読んで、その内容に答える問題であった。

大問②は、「学習のつまずきと支援」に関する 450 語程度の投稿と回答を読んで、その内容に答える問題であった。

大問③は、「地球外の知的生命体」に関する 250 語程度の記事を読んで、その内容に答える問題であった。

大問④は、「近未来の生活」に関する 400 語程度の記事を読んで、その内容に答える問題であった。

大問⑤は、「地球温暖化」に関する 450 語程度の論説文を読んで、その内容に答える問題であった。

#### 学習アドバイス

前年度までとの大きな変更点は、まず、大問のすべてが読解問題になったこと、次に、実用的な内容の英文が増加したことが挙げられる。

健康法・学習法などの実用的な文章から、論説文まで多様な英文を素材とした読解問題が 5 つ出題されている。また、60 分の試験時間に対して、大問①～⑤で計 25 問の小問に解答し、1,900 語程度の英文を読むことを考えると、時間に余裕があるとは言えない。文章自体は標準的なものであるが、素早く読みつつも正確に解答するには長文に慣れることが必要である。

では、各大問の特徴を見つつ、対策を考えていこう。

#### 大問①

同意表現を選ばせる出題については、all or nothing という慣用表現が問われたが、ここ

では知識よりもむしろ文脈の把握力が試されている。同時に、**at a time** という慣用表現については、基本的な熟語集に取り組んでいれば解答することは容易であっただろう。空所補充問題については、選択肢は非常に基本的な語句から構成されているが、正答にたどり着くには正しい文脈の理解が必要である。文章の趣旨を選ばせる出題については、文章全体の内容を大きく捉える力が必要である。

大問<sup>2</sup>

4名のうち3名の投稿内容の違いを比較しながら、それぞれの投稿内容の論旨を把握する力が問われている。

大問<sup>3</sup>

詳細情報の把握、段落の主題の決定、文脈による同意表現の把握など、バランスよく英語の読解力が問われている。

大問<sup>4</sup>・<sup>5</sup>

同意表現を選ばせる出題については、**virtual goggles** や **smart mirror** という受験生にとって馴染みないであろう語句を文脈から判断する力が問われている。同時に、**in the long run** という慣用表現については、基本的な熟語集に取り組んでいれば解答することは容易であっただろう。内容一致問題については、文章の目的、詳細情報、登場人物の意見など、大問<sup>3</sup>と同様に、バランスよく英語の読解力が問われている。

■一般入試 C 2月7日

出題傾向

解答時間 60 分、大問 5 題、小問 25 問である。問題構成は以下の通り。

- <sup>1</sup> 読解問題 (5 問)
- <sup>2</sup> 読解問題 (5 問)
- <sup>3</sup> 読解問題 (5 問)
- <sup>4</sup> 読解問題 (5 問)
- <sup>5</sup> 読解問題 (5 問)

大問<sup>1</sup>は、A「フィットネスクラブの案内」に関する 120 語程度のパフレット、B「研修プログラムの案内」に関する 180 語程度のウェブサイトを読んで、その内容に答える問題であった。

大問<sup>2</sup>は、「遅刻についての討論」に関する 350 語程度の記事を読んで、その内容に答える問題であった。

大問<sup>3</sup>は、「旅行についての感想」に関する 330 語程度のブログを読んで、その内容に答

える問題であった。

大問[4]は、「人口問題の研究」に関する 350 語程度の記事を読んで、その内容に答える問題であった。

大問[5]は、「ファッション産業の変化」に関する 450 語程度の論説文を読んで、その内容に答える問題であった。

## 学習アドバイス

前年度までとの大きな変更点は、まず、大問のすべてが読解問題になったこと、次に、実用的な内容の英文が増加したことが挙げられる。

パンフレット、ウェブサイト、ブログなどの実用的な文章から、論説文まで多様な英文を素材とした読解問題が 5 つ出題されている。また、60 分の試験時間に対して、大問[1]～[5]で計 25 問の小問に解答し、1,800 語程度の英文を読むことを考えると、時間に余裕があるとは言えない。文章自体は標準的なものであるが、素早く読みつつも正確に解答するには長文に慣れることが必要である。

では、各大問の特徴を見つつ、対策を考えていこう。

### 大問[1]

日常生活に関連した英文を読むことを通じて、基本的な読解力があるかが問われている。また、見出しに着目しながら必要な情報を素早く拾う力が求められている。この種の問題は得意な人とそうでない人とでは差が付きやすいので、苦手な受験生はある程度練習を積んでおくとういだろう。

### 大問[2]

賛成か反対かに意見が分かれるテーマの英文を用いて、賛成・反対の根拠となる意見を把握する力が求められている。日頃から賛成の説の根拠や、反対の説の根拠を意識しながら英文を読むことを心がけるとよいだろう。

### 大問[3]

筆者の心情に言及している描写を読み、その心情を一語で抽象化した選択肢を選ぶ問題が出題されている。具体的な記述を抽象化する力を身につけるためにも、日頃の学習では、例えば段落ごとに「結局これは一言で表現するとしたらどのような語が適切か」と考える習慣を付けるよう意識するとよいだろう。

### 大問[4]・[5]

内容一致問題を通して詳細情報と概要の把握がバランスよく問われている。比較的長めの文章を情報や要点を整理しながら限られた時間内で読む力が求められている。また、利点

と欠点について対比的な内容を問う設問が各 1 問ずつ出題されており、対比関係を把握する力も求められている。

## ■一般入試 C 2月8日

### 出題傾向

解答時間 60 分、大問 5 題、小問 25 問である。問題構成は以下の通り。

- 1 読解問題 (5 問)
- 2 読解問題 (5 問)
- 3 読解問題 (5 問)
- 4 読解問題 (5 問)
- 5 読解問題 (5 問)

大問1は、A「留学プログラム」に関する 130 語程度のお知らせ、B「博物館の案内」に関する 230 語程度のウェブサイトを読んで、その内容に答える問題であった。

大問2は、「新たな大学教育システム」に関する 350 語程度の記事を読んで、その内容に答える問題であった。

大問3は、「旅行についての感想」に関する 420 語程度のブログを読んで、その内容に答える問題であった。

大問4は、「貧困国の子供を支援する取り組み」に関する 460 語程度の記事を読んで、その内容に答える問題であった。

大問5は、「芸術の定義の変遷」に関する 400 語程度の論説文を読んで、その内容に答える問題であった。

### 学習アドバイス

前年度までとの大きな変更点は、まず、大問のすべてが読解問題になったこと、次に、実用的な内容の英文が増加したことが挙げられる。

お知らせ、ウェブサイト、ブログなどの実用的な文章から、論説文まで多様な英文を素材とした読解問題が 5 つ出題されている。また、60 分の試験時間に対して、大問1～5で計 25 問の小問に解答し、2,000 語程度の英文を読むことを考えると、時間に余裕があるとは言えない。文章自体は標準的なものであるが、素早く読みつつも正確に解答するには長文に慣れることが必要である。

では、各大問の特徴を見つつ、対策を考えていこう。

### 大問<sup>1</sup>

日常生活に関連した英文から必要な情報を読み取る力が問われている。中には数字を計算させる問題なども出題されており、情報の整理をしながら、読みすすめる練習をするとよいだろう。

### 大問<sup>2</sup>

ディベート（討論）に向け意見や情報を把握する問題を通じて、短い説明文の概要や要点を捉える力、賛成・反対の意見を把握する力が問われている。日頃から英文を読むときは、2つの意見（譲歩・主張など）に分けての違いを対比という視点から読み取るよう心がけるとよいだろう。

### 大問<sup>3</sup>

心情変化の整序問題では、登場人物の心情変化の順序を把握する力が問われている。まずはその問と選択肢にある4つの単語を見て、それを踏まえて本文を読むとよいだろう。

また心情と同時にブログ内にある出来事を時系列に整理する力も、内容一致問題を通して問われている。

最後に、これはすべての大問にも共通して言えることだが、正答率を上げるのに最も大事な力は、「言い換えに気づく力」である。たとえば、booked … ferry and drove ～という本文の記述と同じ内容を選ばせる選択肢には went to ～ by sea and road などと言い換えがなされていた。日頃から英文を読む際にも、ある語句が別の語句にどのように言い換えられているのかを意識して学習するとよいだろう。

### 大問<sup>4</sup>・<sup>5</sup>

大問<sup>4</sup>では詳細情報と概要を把握する力がバランスよく問われている。

大問<sup>5</sup>では各段落の主題や要約問題を通して、概要を把握する力が問われている。したがって、日頃から英文を読む際は、段落ごとにメモを取りながら、各段落の主題を読み取りながら、英文全体の要約をするように心がけるとよいだろう。